



2024年（令和6年）6月7日

7月3日の新紙幣発行を記念した企画展示  
**今こそ伝えたい、近代日本経済の父**  
**「写真で綴る 帝国ホテル初代会長 渋沢栄一」**

期間：7月1日（月）～2025年3月31日（月）予定

場所：本館1階宴会ロビー

後援：公益財団法人渋沢栄一記念財団

渋沢栄一へのオマージュを込めた  
新作惣菜の発売やカクテルが復活



左：帝国ホテルの初代会長を務めた渋沢栄一（渋沢史料館所蔵）

右上：オールドインペリアルバーで提供するカクテル「IMPERIAL BLUE～共に蒼き思い～」

右下：ホテルショップの惣菜「牛ヒレ肉のカツレツ コルドンブルー 深谷ねぎカレーソース  
～渋沢翁へのオマージュ 帝国ホテル風～」

帝国ホテル 東京は、帝国ホテル初代会長・渋沢栄一が、7月3日（水）から発行される新一万円券の肖像となることを記念し、7月1日（月）から企画展示「今こそ伝えたい、近代日本経済の父『写真で綴る 帝国ホテル初代会長 渋沢栄一』」を本館1階宴会ロビーにて開催いたします。



明治政府が対等な外交関係を築くため、1890年（明治23年）に「日本の迎賓館」としての役割を担い誕生した帝国ホテルの設立発起人であり、初代会長を務めた渋沢栄一。開業後19年に渡って経営の舵取りをした渋沢翁が肖像となる紙幣が発行されることを機に、あらためて彼の功績や帝国ホテルに残した言葉などを写真とともに綴る企画展示を実施いたします。

また、7月1日（月）から、渋沢翁へのオマージュを込めて考案したカクテル「IMPERIAL BLUE ～共に蒼き思い～」を再販売するほか、出身地である埼玉県深谷市の名産品「深谷ねぎ」を使用した惣菜「牛ヒレ肉のカツレツ コルドンブルー 深谷ねぎカレーソース～渋沢翁へのオマージュ 帝国ホテル風～」を販売いたします。

概要は以下の通りです。

## ■新紙幣発行記念企画展示

### 今こそ伝えたい、近代日本経済の父

#### 「写真で綴る、帝国ホテル初代会長 渋沢栄一」

帝国ホテル初代会長である「渋沢栄一」の功績と、その人生哲学、そして帝国ホテル創業にかけた思いを尊び、公益財団法人渋沢栄一記念財団のご協力のもと、様々な時代の写真をメインとした企画展示を実施いたします。

展示内容は、帝国ホテルの会長としての渋沢翁だけでなく、生家から渡欧、大蔵省時代、晩年に彼が行った人形外交や慈善活動の様子まで、実業家としての渋沢翁にも着目したものとなっています。また、本館中2階「レ セゾン」横の展示スペースでは、渋沢栄一の孫 鮫島純子氏が遺した絵画の展示を通して晩年の渋沢翁の穏やかな日々を紹介いたします。

期 間： 2024年7月1日（月）～2025年3月31日（月）予定

場 所： 本館1階宴会ロビー（一部は本館中2階「レ セゾン」横にて展示）

※鑑賞無料

後 援： 公益財団法人渋沢栄一記念財団

展示内容： ①江戸～昭和へ4つの時代を駆け抜けた渋沢栄一の年譜  
②1890年（明治23年）帝国ホテル開業 初代会長となり19年に  
わたり帝国ホテルの経営の舵をとる  
③今も生きる 渋沢栄一の言葉

本館中2階「レセゾン」横では以下を展示

- ④渋沢家のウエディング
- ⑤鮫島純子（渋沢栄一ご令孫）から見た『渋沢栄一』

お問い合わせ： 東京総支配人室 営業企画課 TEL. 03-3539-8015

## ■<復刻>カクテル「IMPERIAL BLUE ～共に蒼き思い～」

2021年にご提供した、渋沢翁へのオマージュを込めたオリジナルカクテルを1か月間限定で復刻販売いたします。渋沢家の家業である“藍”玉の製造・販売と雅号の“青淵”、そして帝国ホテルのコーポレートカラーにちなんで創作したカクテルです。飾りは、渋沢家の家紋である「丸に違い柏\*」をミントの葉で表現しています。



\*丸に違い柏： 柏の葉を二枚交差させたような紋柄。

料 金： 3,800円（サービス料・消費税込）  
期 間： 7月1日（月）～7月31日（水）  
提供時間： 11:30～23:30（ラストオーダー）  
場 所： 本館中2階「オールドインペリアルバー」

お問い合わせ： 「オールドインペリアルバー」 03-3539-8088

## ■渋谷カレー ～初代会長 渋谷栄一にオマージュを込めて～

帝国ホテル 東京料理長の杉本 雄が監修した、渋谷翁の出身地・埼玉県深谷市産のねぎを丸ごと1本使用し、見た目も鮮やかに仕上げた斬新なグリーンカレーです。ねぎは芯から青い部分まで余すことなく使用しており、その甘味や苦味、辛味などを活かすとともに、ルーに旨味とコクを引き出しました。ねぎの青い部分で作ったオイルを和えたライスに、こんがりとグリルし甘味を閉じ込めたねぎと、低温調理した柔らかでジューシーな深谷ポーク、赤玉ねぎ、ピーマン、新芽のコリアンダーを添え、お好みでライムをかけてお召し上がりいただきます。



料 金： 3,500 円（サービス料・消費税込）  
期 間： 販売中  
提供時間： 11:30～21:30（ラストオーダー）  
場 所： 本館1階「パークサイドダイナー」

お問い合わせ： 「パークサイドダイナー」 03-3539-8046

新紙幣発行を記念し、本メニューをご注文いただいたお客様に、次回「パークサイドダイナー」にてご利用いただけるご優待券（20%引き）を期間限定で進呈いたします。

ご優待券配布期間： 7月1日（月）～7月31日（水）

## ■<新作>「牛ヒレ肉のカツレツ コルドンブルー 深谷ねぎカレーソース～渋谷翁へのオマージュ 帝国ホテル風～」

渋谷翁にオマージュを込めて誕生した「渋谷カレー」のカレーソースをアレンジし、ハムとチーズを包んで焼き上げた牛ヒレ肉のカツレツと合わせた一品。やわらかい食感の牛ヒレ肉とほどよい塩味のハムや、コクがありまろやかなグリエールチーズがカレーソースとの相性抜群です。



価 格： 3,888 円（消費税込）  
期 間： 7月1日（月）～8月31日（土）  
場 所： タワー館1階ホテルショップ「ガルガンチュワ」

## ■フィナンシェ

帝国ホテル 東京料理長の杉本 雄が、強い日本経済を作り出すために金融の礎を築いた渋沢翁への敬意を表して創作しました。ココアパウダーを練り込んでしっとり焼き上げた生地、チョコレートと金箔をあしらい、フランス語で金融家を意味する焼き菓子「フィナンシェ」を、まるで「金塊」のような見た目に仕上げています。また、「道徳と経済の両立によりすべての人が幸せになる社会を目指す」という、現代のSDGsにも通じる渋沢翁の考えに感銘を受け、フェアトレードのチョコレートを使用しています。5個セットは、黒地に金のデザインがシックな専用の化粧箱をご用意しており、大切な方へのご贈答にもおすすめです。



価 格： 5個入り（専用化粧箱入り） 4,752円／1個 864円（消費税込）  
※7月1日（月）からの価格  
期 間： 販売中  
場 所： タワー館1階ホテルショップ「ガルガンチュワ」

お問い合わせ： 「ガルガンチュワ」03-3539-8086（営業時間 10:00～19:00）

※8月8日（木）より本館1階に移転予定。詳細は随時ホームページに掲載いたします。

## ご参考【渋沢栄一と帝国ホテル】

### ■帝国ホテルの設立と渋沢栄一

不平等条約改正を目指す明治政府にとって、帝都・東京を訪れる内外賓客をもてなすのにふさわしい宿泊施設の整備は急務でした。当時の外務卿（外務大臣）の井上馨は、渋沢栄一や大倉喜八郎といった大実業家に一大賓館の建設を持ちかけ、計画が動き出します。渋沢栄一をはじめとした当時を代表する経済人が設立発起人となり、宮内省をはじめ当時の名だたる財閥が出資をし、1890（明治23）年に帝国ホテルは開業しました。

渋沢栄一は、1890年の開業以来19年間経営を舵取りし、初代会長を務めました。

### ■渋沢栄一が帝国ホテルに残した2つの言葉

#### ●1890年 帝国ホテル開業式の言葉（東京府知事の祝辞に対する答辞）

『その構造は美を尽さずと雖ども能く数百名の大賓を款待するに足るべく其器皿は金を鑲し玉を刻せずと雖ども五州水陸の珍什は一呼立どころに辨ず是れ本館の自から勉め自から任じて譲らざる所なり 知事閣下の其国の民意を察し其文明の點度を徴するに足ると言はるる如き者は本館励精を以て之を他日に期せんと欲す仰願くは朝野内外の貴賓此徴志を諒納せられ幸に眷愛を賜はらんことを謹を以て奉答し並に茲に鳴謝す』（建物や設備・什器は美を尽くしたものではないが、数百名の賓客をおもてなしするに不足はなく、皿や器も贅をきわめてはいないが、用命があれば世界のどんなものでも調達して便宜を図る。これこそ帝国ホテルが自身の果たすべき役割と心得、絶対に譲らないところだ。知事閣下が、ホテルはその国の民意や文明度を示すものとおっしゃられたことについては、現在は力不足でも、近い将来必ず恥ずかしくないレベルを約束する。どうか、ご愛顧をお願いします）

#### ●渋沢栄一が会長職を辞した後に帝国ホテルを訪れた際、従業員にかけた言葉

『色々の風俗習慣の、色々の国のお客を送迎することは、大変にご苦労なことである。骨の折れる仕事である。然乍ら君達が丁寧に能く尽して呉れれば、世界中から集り世界の隅々に帰つて行く人達に日本を忘れずに帰らせ、一生日本をなつかしく思出させることの出来る、国家の為にも非常に大切な仕事である。精進してやつて下さいよ』

### ■渋沢栄一の精神が宿る帝国ホテルの企業理念

帝国ホテルの企業理念である「帝国ホテルは、創業の精神を継ぐ日本の代表ホテルであり国際的ベストホテルを目指す企業として、最も優れたサービスと商品を提供することにより、国際社会の発展と人々の豊かでゆとりある生活と文化の向上に貢献する。」は、初代会長である渋沢栄一の教えと深く響き合っており、そのDNAは今も脈々と帝国ホテルの従業員の心に受け継がれています。

## ■ ホテル内に設置されている渋沢栄一の胸像

帝国ホテル東京の敷地内には、渋沢栄一初代会長の胸像があります。その胸像は、渋沢栄一が会長職を辞した16年後（当時86歳）の1925（大正14）年に造られました。当初は、1923年に開業した2代目本館（ライト館）内の中央にあった大食堂を挟んで、渋沢栄一像と、2代目会長の大倉喜八郎像がそれぞれ南北の中庭に設置されました。両胸像は、帝国ホテルの従業員一同が両翁の徳を慕って造ったものです。

1970年、現在の本館が完成した際に、現在の場所に移されました。

